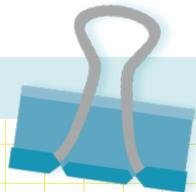


# 確認しよう 家具転対策



家具類の転倒等を防ぐためには、家具に合わせた対策が重要です。いざというときに備えて、日ごろから確認しましょう。

**問合せ** 指定があるもの以外は防災課防災事業係 ☎内線418

## タンス等(壁に面した大型家具)

大型で壁に面している家具には、L字金具での固定が効果的です。固定方法には、主に、上向き固定と下向き固定があり、最も効果的なのは下向き固定です。

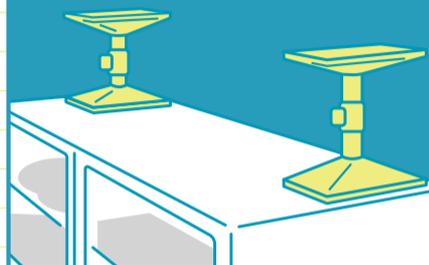


### ワンポイント

壁の下地や棧に固定しないと効果が出ません。専門業者に依頼することも検討しましょう。

## 食器棚・冷蔵庫等(高さがある家具)

高さがある家具には、ポール式器具での固定が有効です。取り付ける際は、家具の壁側の両端に取り付けましょう。家具の下に差し込むストッパー式器具等と組み合わせるとさらに倒れにくくなります。

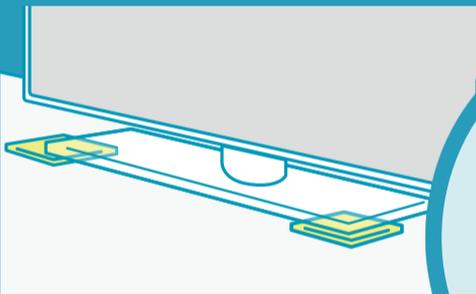


### ワンポイント

壁に穴を開けずに固定できるので、賃貸住宅の方が大型家具を固定するときにもおすすめです。

## テレビ等(家電製品)

金具等による固定が難しい家電製品には、粘着マットがおすすめです。底面に貼り付けるだけで効果があり、手軽に対策できます。

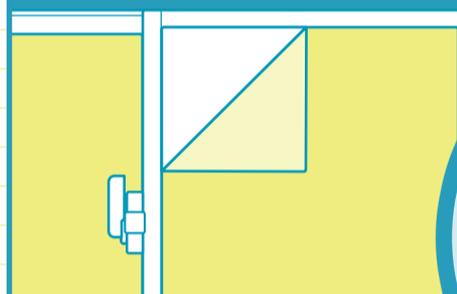


### ワンポイント

家電だけでなく、花瓶等の割れやすいインテリアにも使えます。

## ガラス扉・窓

割れたガラスの飛散による二次被害を防ぐため、ガラスフィルムの貼り付けが有効です。窓に貼る場合は、防災だけでなく、防犯の面でも有効です。



### ワンポイント

断熱機能を備えたものを窓に使うと、省エネ効果も期待できます。

## 器具の設置工事費・購入費を助成します

区では、家具転対策のための器具設置工事や購入費用を助成しています(工事または購入、1世帯どちらか1回。事前申請が必要)。令和7年4月からは、木

造住宅密集地域内の木造住宅に住んでいる世帯も特別世帯の対象になりました。申請方法等の詳細は、荒川区ホームページ(右の二次元コード)をご覧ください。



- 【設置工事費】** 工事費の半額(限度額1万円)  
※特別世帯(右記)は工事費の全額(限度額2万円)
- 【器具購入費】** 購入費の半額(限度額5000円)  
※特別世帯(右記)は購入費の全額(限度額1万円)

- 特別世帯は、次のいずれかに該当する世帯が対象です。
- ▶ 世帯全員が満65歳以上 ▶ 世帯全員が住民税非課税
  - ▶ 木造住宅密集地域内の木造住宅に居住している
  - ▶ 身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っている方または要介護4以上の認定を受けている方がいる

## 在宅避難の準備を忘れずに

地震発生後、自宅が無事で地域に火災の危険がない場合は、自宅にとどまる「在宅避難」ができます。在宅避難に備えて、生活に必要なものを「家族の人数×7日分(最低3日分)」備蓄しましょう。



## 断水時に水を配る場所 災害時給水ステーション

東京都水道局では、都内200か所以上に「災害時給水ステーション」を設置しています。区内では、南千住給水所(南千住8-2-6)と日暮里南公園(東日暮里5-19-1)に設置されており、災害等で断水が発生したときは、区等が開設します。

他区に開設されるステーションも利用できますので、日ごろから、最寄りのステーションを確認しておきましょう。

開設場所・開設状況は、東京都水道局ホームページ(<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/shinsai/kyoten>)をご覧ください。

## 災害発生後の ごみ収集・資源回収

災害発生後、ごみ収集・資源回収を中止する場合があります。救助活動等の妨げにならないよう、ごみ等は、再開まで各家庭で保管するようお願いいたします。なお、感染症予防や衛生上の観点から、使用済みの携帯トイレやおむつはほかのごみと混ぜず、別の袋に分けてください。  
※収集・回収の再開日は、荒川区ホームページ等でお知らせします

**問合せ** 清掃リサイクル推進課管理計画係 ☎内線470